

広報活動

平成 30 年度は、昨年度に引き続き、病院要覧をはじめ、日本語版、英語版に加え中国語版ホームページの充実を図った。また、阪大病院ニュースによって、積極的に院内外に向け情報発信を行った。その他、特筆すべき事項について、以下のとおり示す。

1. 市民公開フォーラム

本院では、平成 19 年 2 月から、がん診療について近隣市民等に対して分かり易く解説することを目的として、市民公開フォーラムを開催している。

平成 30 年度開催分

テーマ・主な内容	
開催日：平成 30 年 12 月 1 日（土）	
〔AYA 世代のがんの患者さんたちへの支援〕	
(1) 開会の挨拶	化学療法部長 水木満佐央
(2) AYA 世代とは、その患者さんたちのかかえる問題	小児科学講師 三善 陽子
(3) AYA 世代患者さんの精神的な特徴について	保健医療福祉ネットワーク部臨床心理士 田口 真由美
(4) AYA 世代の仕事・お金の問題	特定社会保険労務士 関 孝子
(5) AYA 世代の妊娠、出産に伴う問題	産科学婦人科学助教 生殖医療センター副センター長 瀧内 剛
(6) がんから学んだ“ほしい未来”のつくり方	ダカラコソクリエイト発起人・世話人 大阪ガス株式会社 近畿圏部 ソーシャルデザイン室 谷島 雄一郎

2. 広報誌の発行(阪大病院ニュース)

大学病院としての本院の存在意義を一般社会に十分に理解してもらうとともに、診療を通じて推進する研究や教育の意義、病院運営に対する財政的な役割、さらには先進医療の推進による社会的な貢献などについて広報するため、阪大病院ニュースを年 4 回発行している。

平成 30 年度発行分

号	年月日	主な記事
70	30. 4. 25	・新病院長インタビュー ・がんゲノム医療中核拠点病院に指定

		＊患者さん満足度調査結果発表 ＊最大限の安全に配慮した全身管理と疼痛緩和 麻酔科 ＊胎児は一人の患者さん 診療科の枠を超えたチーム医療 胎児診断治療センター
71	30. 7. 25	・外来・中央診療棟に新しい外来の診察室がオープン ・阪大がんサロニイベント開催 ＊1 細胞レベルで観察して的確な治療方針決定 病理診断科 ＊難病の情報提供や新しい医療開発に 27 診療科で統合的に取り組む 難病医療推進センター
72	30. 10. 25	・ガンバ大阪選手会寄付 小児医療センターにウォールペイント ・手術室 2 室増室 22 室にロボット専用も ＊あらゆる循環器疾患に対応 循環器内科 ＊糖尿病診療のプラットフォーム 糖尿病センター
73	31. 1. 25	・がん遺伝子パネル検査室が国際認定「CAP-LAP」を取得 ・ダ・ヴィンチ手術システムのリニューアル ＊10 年先を見据えた心臓病治療 心臓血管外科 ＊病院の中の再生工場 材料部

3. 病院見学会

一般の人にも本院について理解を深めてもらい、意見を聞き、よりよい開かれた病院にしようと、平成 17 年度より病院見学会を実施している。

平成 30 年度は 9 月 26 日（水）に実施。臨床検査部の検査システムや、病理部の様子など、普段見ることのできない場所を見学し、医療の現場を実感してもらった。



病理部の見学